

科目ナンバリング									
授業科目名 <英訳>		心理学Ⅰ Psychology I			担当者所属 職名・氏名		教育学研究科 教授 桑原 知子		
群	人文・社会科学科目群			分野(分類)	教育・心理・社会(基礎)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2025・前期		曜時限	火5		配当学年	全回生	対象学生	全学向
[授業の概要・目的]									
(授業の概要・目的) 主として臨床心理学の観点から、「こころ」へのアプローチを試みる。その際、問題や現象に対する臨床心理学の基本的なスタンスを概説するとともに、臨床心理学的アプローチに関する基本的な知識の習得を目指す。 また、臨床心理学を基礎づける医療や発達の観点、遊びについても<トピック>として扱う。また、教育、司法など、現代社会において臨床心理学が実際に役だっているさまざまな領域における応用についても概説する。 さらに、臨床心理学で使われる箱庭療法や夢分析についても触れ、こころの深い領域やそのダイナミクス(はたらき)について理解することをめざす。									
[到達目標]									
(到達目標) 臨床心理学の現象・問題に対する基本的なスタンス、それらへアプローチする際の基本的な方法論、そこで必要となる基本的な知識を習得すること。また、それらを通して、(自分の)「こころ」への、より深く、ダイナミックな理解を得ること。									
[授業計画と内容]									
(授業計画と内容) 1. オリエンテーション 2. こころの不思議にふれる 3. 臨床心理学の基礎 <臨床心理学によるこころの理解> 4. 臨床心理学の歴史 5. 臨床心理学の理論 <臨床心理学と周辺領域> 6. 臨床心理学と発達 7. 臨床心理学とあそび 8. 臨床心理学と精神医学 9. 臨床心理学と人格 <臨床心理学の方法> 10. 箱庭療法 11. 夢分析(1) 12. 夢分析(2)									
-----心理学Ⅰ(2)へ続く↓↓↓-----									

心理学Ⅰ(2)

＜臨床心理学の応用＞

13. 学校

14. 司法

15. まとめ

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点】

出席状況、各回提出の小レポートによって評価する。

出席とそれに伴う小レポート：75点

最終回に提出するレポート：25点

【教科書】

使用しない

【参考書等】

（参考書）

授業中に紹介する

【授業外学修（予習・復習）等】

予習復習を行うこと。

【その他（オフィスアワー等）】

【主要授業科目（学部・学科名）】